

切削加工の技術を礎に 幅広いものづくりを展開

海外発注可
期相談
企画力自信有
コスト相談
メイドイン
ジャパン
試作可
小ロット
量対応



切削を中心にさまざまな加工に対応

業務内容 開発機能を持った 部品メーカー

センサー、産業用ロボット、計測機器等、さまざまな精密機器の金属部品を製造するテクノタイヨ。その加工精度は高く、100分の1mm、部位によつては1000分の1mm単位の切削も可能だ。

創業以来、自動機や省力化機械の設計を得意としてきたが、近年は部品メーカー的な仕事の受注が多い。ただし、単に部品製造や組立を手掛けるだけでは価格競争に巻き込まれる懸念がある。そこで同社独自の開発・設計ノウハウを前面に出した「開発機能を持った部品メーカー」への展開を図っている。

強み 切削加工・組立・検査・ 出荷まで一貫作業が可能

その実践を支えているのが同社の充実した設備。マシニングセンター8台、NC旋盤6台を保有している他、多目的の可動化組立ラインも持つ。さらに3次元測定器、画像測定器等の検査機器も装備している。

これらの設備環境を駆使することで、切削加工から部品の組立、品質管理、梱包、出荷までの作業をすべて行える。

さらに同社で製造した部品だけでなく、周辺の協力工場のネットワークを活かした部品調達もできるため、自社工場内で半製品のユニット、もしくは完成品にまで仕上げて出荷できる点が強みになっている。

自社開発 オイルダンパーの 商品化にチャレンジ

同社で開発・設計した製品の一つに、システムキッチンの収納機構部等に使われるオイルダンパーがある。同社では、それをオリジナル製品として販売することにも取り組んでいる。

オイルダンパーは用途等に応じた設計や仕様の変更にきめ細かく対応でき、独自のセル生産方式による小ロット生産も可能。一般規格品に比べて大幅なコストダウンができるのがメリットだ。具体的な商品化例としては、高齢者向けのトレーニング機器に採用されている。

「オイルダンパーの商品開発はまだ始まったばかりですが、当社の将来性を賭けている分野ですから、大きく育てていきたいです」と水野社長は語る。



同社のオイルダンパーが採用されたイス

今後の展望 技術・体制を強化しつつ 自社ブランドの創出へ

切削加工の技術については、精度の高い微細加工に力を入れ、付加価値の高いものづくりに挑戦すると共に、より小ロットで短納期が可能な体制づくりを目指していく。オリジナル製品のオイルダンパーについては、ニーズをさらに開拓して製品実用化を広げていく。開発と設計のノウハウを活かしたもののづくりを進めて、「テクノタイヨブランド」の商品を世に送り出すことが目標だ。

COMPANY PROFILE

株式会社テクノタイヨ

大阪
23

当社の 歴史

先代社長が創業した当時は、省力化機械の開発や設計を主な業務としていましたが、案件の達成までに日数やコストを要するため、次第に部品加工を事業の中心に置くようになりました。ただし、5、6年前からは原点復帰の意味も込めて開発・設計を重視し、コスト削減の提案や合理化の実践等に力を入れています。オリジナルなものづくりで差別化を図っていきたいですね。

創業の原点に戻り、開発・設計ノウハウを
駆使したものづくりを目指していきます。

代表取締役 水野 敏雄さん



■主な事業内容

省力化機械の設計・製造、マシニング加工、各種金属の切削加工、組立加工、吊り戸棚昇降装置の開発・製造、オイルダンパーの開発・製造等

■主な取引先(納入先)

センサーメーカー、光学機器メーカー、産業機械メーカー、金属部品メーカー等

住所／〒599-8102
堺市東区石原町
1-153
TEL／072-255-9559
FAX／072-255-0595
創業／昭和58年10月
設立／昭和58年10月
資本金／1,000万円
従業員／50名(パート含む)

<http://www.techno-t.co.jp>